

福祉環境委員会記録

令和5年6月1日（木）

10時00分～11時28分

全員協議会室

【委員】小川委員長、村木副委員長、村武委員、柳楽委員、岡本委員、川神委員

【議長・委員外議員】

【事務局】久保田書記

議題

- 1 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について（委員間で協議）
- 2 委員会代表質問について（委員間で協議）
- 3 行政視察について（委員間で協議）
- 4 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00 分 開議]

○小川委員長

ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は5名で定足数に達している。なお本日は川神委員から欠席届が出ている。川神委員はオンラインでの出席を希望されていたが、やむなく欠席となった。それではレジュメに沿って進めていく。

1 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について

○小川委員長

5月31日までの間、3班それぞれ会社訪問して障がい者雇用の現状を把握してもらった。一応今朝9時が報告書の提出期限だったが、各班から提出してもらっている。これをまた事務局に一覧にまとめてもらい、それを基に今後まとめ作業に入っていきたい。この段階でほかに意見交換が必要な部分や意見があれば伺っておきたい。

○村武委員

学校と相談事業所と企業とヒアリングしてきたので、これ以上のヒアリングは必要ないと思う。後は皆で意見を出し合ってまとめていけば良いと思う。

○岡本委員

事業所へ訪問し、いろいろな方面の課題も見えたと思うし自分も理解できた。後は整理して報告か提案に持って行くかになるだろうと思っている。これ以上のヒアリングは必要ないだろう。

○小川委員長

関係機関のヒアリングは済んだという認識でよろしいか。もし気になるところがあれば。

○柳楽議員

障がいをお持ちのご本人やご家族の話は1か所で聞かせていただいたが、そこがあまりできてないのは少し気になっている。

○小川委員長

私もそう感じている。ご協力いただけるようなご家族やご本人に心当たりがあるかどうか、そのことをまだお諮りしてなかったし、どうかという思いがあった。もしご協力が得られそうな方がいればお聞かせいただければ。

○柳楽委員

手をつなぐ育成会の代表者等にお問い合わせすれば、そういった場を設けることは可能かと思う。

○小川委員長

柳楽委員にその関係者の知り合いがおられるか。

○柳楽委員

村武委員も私もその会に所属させてもらっているのだから、つなぐことはできると思う。

○村武委員

先ほどはこれで良いと言ったが、柳楽委員の言われるように障がいを持つご本人の意見はまだあまり聞けてないというのは、ごもっともだと思う。西川病院でお聞きした方はどちらかというとうまくいっている方だと思う。うまくいってない方もおられると思うので、そういうご意見も伺いたい。

○小川委員長

今から6月定例会議が始まるが、もし可能なら取り組んでも良いと思う。つながりができれば対象者に何人か集まっていたかどうか、どういう形が良いか今は想像がつかないが、可能なら当事者のご意見を聞いて盛り込んだほうが実効性のある提言になる気がしている。

手をつなぐ育成会ともし日程が調整できれば。今までのところは今までのところでもまとめをしつつ、その部分を付け加えていく形で進めていければと思う。

○岡本委員

今の案に賛成である。執行部に調査を依頼したい案件が一つある。社会福祉法人に対する国や県の補助金、収入の原資を調べて教えてほしい。企業は案件があったときに補助金を申請して補助してもらうが、それ以外は、障がい者に対する支援があるのだろうと思うが、清和会やその他社会福祉法人そのものの運営が成り立っているかが非常に分かりにくい。経営内容が見えるような情報を執行部に調査していただきたい。他の班はそういう部分に触れてみたか。

○柳楽委員

今回伺った事業者では、何かしら補助金を受けているかどうかは確認したが、それがどういったものか具体的なことは確認していない。

○村武委員

私もそこは気になっている。我々は先般ベリーネに行った。障がい者の助成金・補助金といったものは受けているかと聞いたら、ハローワークを通して雇用してから何か月か何年かは分からないが、そこは受けているとは言われていた。ベリーネは中電工の関連会社という形になっていて、親会社のほうでそういったものがあると言っておられたが、そこまで突っ込んで聞けてない。家に帰って報告書をまとめたときに、雇用したら何かしらの補助金が出るといった制度にはどういうものがあるのか気になったので、昨日、地域福祉課長に調査を依頼している。

○岡本委員

福祉に関わっている企業が、本当に企業として成立しているのか、その根拠は何かを知っておかないと、いろいろな提案にはつながらないのでは。経営内容についても少し分かれば良いと思う。

○小川委員長

6月定例会議初日の委員会で、所管事務調査として聞いてもらったら良い。昨日伺ったしおかぜ・はまかぜの福祉就労、特にB型の単価の関係。それぞれの方が短時間勤務などをやるとどうしても月額が低くなり、その低い金額に従って補助金が出る形

となると、その分が全部法人に掛かってくると言われていた。そういう仕組みに問題があると思われている。こちらが聞きたい内容をもう少し整理して、所管事務調査でお願いする形にしたほうが良い。

○村武委員

一般企業と福祉就労とはまた違うと思うので、両方お願いしたい。その前に障がい者ご本人やご家族のご意見を聞く件だが、手をつなぐ育成会は知的障がいの方がほとんどだと思う。私は聴覚障がいをお持ちの方と知り合いなので、声を掛けることができるかもしれないが、いかがか。

○小川委員長

知的障がいに限らず、村武委員のお知り合いに話してもらって協力が得られそうかどうか聞いていただければと思う。

○村武委員

では柳楽委員と話を進めていきたいがよろしいか。

○小川委員長

よろしく願います。

○岡本委員

知的・身体・精神それぞれの障がい者数と雇用について、前副委員長が質問していたと思うが、あの表はもらっているか。昨日清和会と話したとき、雇用の数のことに触れられた気がしたが私は答えられなかった。総社市は1500人と数値をしっかりと捉えているのに対し、浜田市は少し曖昧ではなかったか。少なくとも私は把握できてないので、次の提案にもつながると思われるので所管事務調査として要請したい。

○村木副委員長

たまたま今回次の項目で委員会代表質問の関係だったので、前副委員長のほうで調べたところでは、令和4年3月31日現在の浜田市における障害手帳保持者ということで、身体障がい者が2,640名、知的障がい者が708名、精神障がい者が718名。

○村武委員

委員会代表質問フォルダに答弁書がある。人数についてはそこに書いてある。

○村木副委員長

全体の人数と18歳から64歳までの人数も個別に。

○岡本委員

企業別に把握できないか。

○小川委員長

それは難しかったのでは。今回の訪問でも、障がい種別はプライバシー情報だとして企業側から配慮を求められた。実数を執行部に聞いても多分出てこないだろう。そのあたりを調べられるかどうかは聞いて、難しいという回答になるかもしれないが、それも所管事務調査で聞いてみるか。せめて福祉就労者と一般就労者の人数くらいが分かれば良いのだが。企業ごとというのは難しさがあるかもしれない。

○岡本委員

企業が求めている障がい者がある程度把握しておかないと、知的障がいか、精神障がいなのか、身体障がいなのかによって雇用環境が違いうだろうし。人数がしっかり見れば、その事業者はこういう人たちが雇用できる環境にあるのだと思える。そういうことも分かってないと提案につながらないのではと思って、お願いしたい。

○小川委員長

把握できていて、その情報を介してできる部分があればお願いしたい。定例会議初日の委員会のおきに出していただければ。

○岡本委員

健康福祉部長の答弁にある障がい者人数は、就労実態についても答弁があったのか。障がい者手帳を持っているのはこの人数だと言っているわけで、実際この中の何%が就労しているかといった話はあったか。

○久保田書記

会議録を調べれば分かると思う。休憩を入れてほしい。

○小川委員長

暫時休憩する。

[10時 23分 休憩]

[10時 55分 再開]

○小川委員長

委員会を再開する。今後もう少し調査を深めていくべきところがあればということいろいろ意見をいただいているが、所管事務調査で執行部に説明を求めていきたい部分等があれば出していただきたい。

○岡本委員

3月定例会議にて障がい者就労に関する委員会代表質問をしている。それに答弁もいただいている。就労に関する割合を執行部に表にさせていただけるようお願いしてほしい。

○小川委員長

そのことも含めて定例会議初日の福祉環境委員会にて、執行部に投げかけて回答ができるかどうか聞いてみたい。

先ほどから意見が出ていた、当事者の方の意見と、もう少し具体的に浜田市内の障がい者雇用の現状について、詳しく把握した上で内容に盛り込んでいくということでもう少し調査を進めていきたい。時間的な制約もあるのでまとめ作業も並行してやっていくということにしたい。

議題1については当面このように進めてよろしいか。関係者への調整等、少し忙しいと思うがよろしく願います。

2 委員会代表質問について

○小川委員長

村木副委員長に作ってもらった案に基づいて、皆にご意見を出してもらいながら進めたい。

○村木副委員長

(以下、資料を基に説明)

○小川委員長

このたたき台を基に進めていきたい。担当課との勉強会・意見交換の場を持ちながら提言に結びつける方法もあるし、委員会代表質問という制度の中で質疑することで政策の深度化を図っていくことも必要と思う。最終的には質問者の決定も含めて考えなければいけない。趣旨については村木副委員長が言われたとおりだが、何か皆から意見があれば願います。

○岡本委員

昨日清和会に行ったのだが、社会医療法人という表現でまとめたほうが良いと今思った。また、委員それぞれの一般質問との兼ね合いはどうなのかも心配している。

○小川委員長

今日おられる方で、これを取り上げた場合に個人一般質問と重複する可能性があるなら、事前に調整が必要かとは思いますが。同じテーマにはならないようにとのことだったので。

○柳楽委員

私は次の委員会代表質問でこの件を取り上げていただけたらと思っていたので、全く違う質問にしようと思っている。

○村武委員

私も個人一般質問ではこの内容は取り上げない。

○岡本委員

そういうことであれば、委員長からこの件を質問し、深掘りすることから次のステップの提案につながるだろうと思う。しっかりやっていただきたい。

○小川委員長

深掘りというところまでというと、なかなか難しいかもしれないが、骨子に従ってこのあたりはもう少し進めたほうが良いところがあればどうかと思うが。

○村武委員

委員会代表質問も必要だとは思いますが、内容についてまだこの委員会の中であまり協議されてないように感じる。西川病院のIPSの取組もすごく良いと思うので、そこは聞いてみたいとは思いますが、それに対して委員会内で意見を出したかどうか。

○岡本委員

協議されてないものをぶつけるのはどうかといった指摘なのだろう。IPSについても話を伺っている。概略的なことは分かっているので、執行部側はどういう見解を持っているか知るのには次の提案につながるころだと思うので執行部に回答を求めないか。我々は十分把握しているからやるというよりは、この状況でも大体分かっている

るつもりなので、そこで執行部の見解を求めるということは良いと思う。

それと先ほど委員長は「自分がやるのか」と言われたが、その辺は正副委員長で話をされているか。

○小川委員長

それも決めなければいけない。今回はせざるを得ないのだろうということもあったが、皆もそういう意見なら、やる方向で準備していく。それを前提に組み立てていかなければいけない。村武委員と岡本委員が言われるのは、皆に出してもらっている所感を見れば非常に良い取組で、行政側も早く連携を取って進めていく必要があるし、それが一法人の努力で成り立っているのはいかがなものか、というご意見等もある。IPSも行政側に説明されたそうだが、それに対してではどう答えたか、どう受け止めているかが分からないので、そのあたりを聞いたほうが良いのではないかとということで、今回はこれをやったと思っている。市のほうでどう受け止めたか、どういうシーンができるか、そもそもそれに対する評価があると思うので、そういうことを聞く必要があると思うのだが。

○村武委員

IPSは本当に良い取組だと思うので、私たちから提案ができるの良いと考える。ただ、担当課がどのように考えているかを今回質問するのだが、簡単な答弁しか返ってこなかった場合、それに対してこちらから再質問などをどのようにするかも、あまり協議していない今の段階では進めにくいのではと感じる。

もう一つ、③重層的体制整備事業の地域共生社会について取り上げてもらっていて、私も非常に重要なことだと思っている。地域共生社会については令和4年12月定例会議で私も少し質問させてもらっている。地域共生社会について浜田市はどのように考えているか、最後あまり時間があまりなく簡単に聞く程度にしかできなかったのも、これを取り上げてもらっても良いが、私の答弁書もあるので、もしこれをされるのであれば情報提供する。

③を取り上げた理由をもう少し明確にしたほうが良いと思うがどうか。

○小川委員長

視察に行った際、実際県内でその方向に向けた取組を進めているが松江市と美郷町だと思う。恐らくモデル事業のような形であり、メニューに従ってやればいくらかの支援が受けられる形で進められるのだろうが、そういうことをやりながら最終的には就労支援を含めた障がい者支援につながるのではないかとされたし、それはそうだという認識があったので、ここに上げてもらった。

副委員長と相談した中で、村武委員の言うように全然こちらの期待するような回答でなく、一民間企業のやることに行政側がなかなか介入できないといったそっけない答弁が返ってきたからそれ以上突っ込めないといったこともあった。執行部との意見交換などを通じてやる方向ではないか、IPSを推進していくべきではないかというのがこの総意かどうかも、まだ十分検討されてない。

○岡本委員

執行部との意見交換と言われたが、考えてみれば一般質問の締め切りは来週である。時間がない。意見交換するならIPSについては正副委員長が執行部と直接的に話をされて、やるのも一つの手だろう。いろいろ言われてもキャッチボールがスムーズになってないと聞いている人にとっては不自然である。その辺は少しアクションして、少しつながるような話はしておいてもらったほうが良いのでは。いずれにせよこういうものは今後の提案に全部つながるので、やり取りは聞きたい。我々がやっている過程の中で、相手に対する考え方を求めたいわけで、つながるものである以上は、ぜひそういう対応をお願いしたい。

○小川委員長

確かに日程的な問題もあるので、あまり悠長に構えてられない。こういうことを質問したいがどうだろうかというのは担当課と調整してみる必要があると思う。

○柳楽委員

最初の質問で答弁が返ってくると思う。それがこちらが思うような詳しい内容でなかった場合は、再質問でやっていくのが普通のスタイルだろうと思うので、答弁の様子によって各委員が確認してほしいところを最終的な質問日までに再度出して、再質問してそこをできるだけ掘り下げる形にするのが良いかと思う。ただ、今いろいろ意見が出ているように、代表質問でやるのがよいのか、意見交換としてやるのがよいのかは両方あると思うので、執行部の心構え的にも、質問でやったほうが違う方向があるのかなと思う。

○小川委員長

今回は委員会代表質問という形でやっていこうと思う。進め方については前副委員長が言われたような形で、答弁書を受けてそれを皆に見てもらい、もう少し深掘りしたいところがあれば、それに従って再質問も考えていきたい。担当課と調整していきたい。日程的にはあと1週間もなく、どこまで詰められるか分からないが、今提案いただいた内容を基に通告書を作ってみようと思う。できた段階で皆に見てもらい、締め切りまでには提出して臨みたい。ご協力をお願いします。

余談だが、ある委員会ではもう次の次まで考えられているとの話もある。委員会代表質問を今後どのように活用しながら、取組課題についても進めていくか。それも併せて今後ともよろしくをお願いします。

3 行政視察について

○小川委員長

調整したりご意見を伺ったりしながら進めてきているが、経過について副委員長から報告をお願いします。案があればお話しいただきたい。

○村木副委員長

(以下、資料を基に説明)

○小川委員長

今の説明のように考えているが、皆はいかがか。

○柳楽委員

具体的な場所があるわけではないが、先ほど出た重層的体制整備事業の先進的な取組をされているところがあれば伺ってみたい。

○小川委員長

座間市を中心として、その道中や近辺で先進的な事例があればそこも併せて。その2か所あたりで検討してもらったほうが良いか。

○村木副委員長

令和5年度に認定が134団体あるので、この中から村武委員とも相談したい。

○柳楽委員

市のホームページなどに受入れ可能な所などが出ているのだが、ないのか。

○小川委員長

相手のご都合を聞いて、それに合わせてどうだろうか考えるしかない。

○久保田書記

また確認してお知らせする。

○小川委員長

確認しながら進めていきたい。

○松井次長

終わってから皆のご都合を聞かせていただき、こちらから当たるということにさせていただきます。

4 その他

○小川委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上をもって福祉環境委員会を終了する。

[11時 28 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員会委員長 小川 稔 宏